整理番号 0015

評価年度令和 6年度所属1223

令和 6年度 進捗区分 評価完了 1223 総務部危機・防災対策課 所属長名 山本 茂 記入者 梅津 みのり

事務事業番号 00218 防災事業

【								
総合計画		03 大津市総合計画 第2期実行計画						
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策	009 安心、安全に暮	009 安心、安全に暮らすことのできるまちにします						
施策	021 災害に強いまち	021 災害に強いまちづくりの推進						
取組の方向性	002 地域防災力の向上							
事務事業	001 防災事業	001 防災事業						
運営方法	直営			•	_			
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
根拠法令等	災害対策基本法・大津市の	纟害等対策基本条例		•				
	(事業概要)							
	市地域防災計画、水防計画	画の見直しによる防	災体制の強化と防	5災・減災に資する	物資などの充実により発災時に			
	おける被害の軽減と被災者	<b>ずへの適切な支援の</b>	実施を図るととも	に、幅広い層を対	象とした出前講座の開催による			
事業概要	市民一人ひとりの防災意識	哉の高揚により、官	民一体となった地	地域防災力の向上を	図る。			
尹未恢安 								
1								
	(事業を取りまく社会環境	)						
	気候変動による大雨被害な	よど大規模かつ広域	的な災害が近年多	8発している。なお	、令和2年以降、新型コロナウ			
	イルス感染症の感染拡大に	に伴い、感染症対策	を踏まえた避難所	f運営が必要となっ	ている。また、琵琶湖西岸断層			
事業を取りまく社会	帯や南海トラフによる大規	見模地震と土砂災害	による災害発生が	「懸念される。				
環境とこれまでの見直し	(見直しや改善等の経過)							
	市地域防災計画の修正をは	はじめ、新型コロナ	ウイルス感染症対	対策として備蓄物資	の整備の拡充並びに避難所運営			
	マニュアルの修正など、体	<b>は制の充実強化を図</b> ります。	った。また、出前	前講座の実施やあら	<b>ゆる媒体を活用した広報など、</b>			
	市民の防災意識向上のため	)各種施策を実施し	ている。					

#### 【事業分析】

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市域におられる全ての人、事業者を対象に
目的(何のために)	市民等の生命、身体及び財産を災害から保護するため
手段(どのようなやり方で)	地域防災計画の見直しによる防災体制の充実及び備蓄物資の配備による災害発生時における被害の軽減や被災者への適切な支援並びに幅広い層を対象とした出前講座の開催などを通じた自助・共助による地域防災力の向上に 努め
成果(どのような 状態にするのか)	災害が発生した場合に被害を最小限に抑えるとともに防災知識や災害対応能力の向上により自助から共助へと繋がる住民意識が高揚する。

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	ルコスト	43, 239	44, 105	55, 454	72, 767	172, 767	87, 767	87, 767
事	業費	16, 015	17, 563	28, 912	46, 225	146, 225	61, 225	61, 225
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2, 941	1, 400	0	0	0	0	0
	一般財源	13, 074	16, 163	28, 912	46, 225	146, 225	61, 225	61, 225
人	件費計	27, 224	26, 542	26, 542	26, 542	26, 542	26, 542	26, 542
	事務・技術(人)	3. 08	2. 89	2. 89	2. 89	2. 89	2. 89	2. 89
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	1. 00	1. 00	1.00	1.00	1.00	1.00	1. 00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ(	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0015

事務事業番号 00218 防災事業

【関連予算情報】

成果) 出前講座等の参		位	業費 ○ 令和 5年度			総務部	危機・防災対策詞	<b>*</b>	
指標名 活動) 防災意識啓発活 別 成果) 出前講座等の参		位	令和 5年度						
指標名 活動) 防災意識啓発活 別 成果) 出前講座等の参		位	令和 5年度						
指標名 活動) 防災意識啓発活 別 成果) 出前講座等の参		.位	令和 5年度					上段:目標値	下段:実績
活動) 防災意識啓発活 加 成果) 出前講座等の参				令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
成果) 出前講座等の参	回		35. 00	35. 00	1	35.00	35.00	35.00	35.
			24. 00	24. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.0
口首致			1, 500. 00	1, 500. 00	1, 500. 00	1, 500. 00	1, 500. 00	1, 500. 00	1, 500.
	人		1. 087. 00	1. 319. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. (
-			1, 11111	.,					
【定性評価】			芸術の知り	<u> </u>		##			=== /==
評価項目 妥当性		<b>+</b>	評価の観点 施主体又は手段は	<u></u> Λ π/:	<u></u> 当である	基準			評価
女司注		当			ョ <u>ぃの</u> る ぼ妥当である				<b>A</b>
1		='	J.		<del>は安ヨでめる</del> まり妥当ではない				$\Delta$
'					<u>よりはってはない</u> 当ではない				/ \
評価理由		市月	民の生命、身体及			ているため			
有効性			業分析の「成果」		がっている				
		IC.	記載の成果は上が		や上がっている				
2		てし	ハるか		まり上がっていな	ر،			
					がっていない				
評価理由			民との対面により						
効率性		-	業手法は効率的で		率的である				
3		るカ	טי.		や効率的である + 11 熱変的でない				Δ
3					まり効率的でない 率的でない				
評価理由		₩≤	会を逃さず効率的						
施策への貢献度			衆目標の達成に貢		<u>こた</u> 献している				
			ているか		<u> </u>				Λ
4					まり貢献していな	い			$\boldsymbol{A}$
					献していない				<i>,</i> ,
評価理由		体制	制の強化や備蓄物	資の充実、市民	への意識啓発が進	んだ			
== /m == ±									
評価理由									
【所属評価結果】 総合評価		E1 =	画どおり事業を進	<b>ルフーしが女</b> ル	事業の方向	7 l/ <del>L</del>	拡大		

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
	令和5年度に引き続き、出水期を中心に年		
	人増加しており、市民の関心を集めること	ができていると言える。引き	続き目標達成に向けて本事業を実施し、
	市民の防災への意識付けを行っていく。	<b>4.7.1</b>	サ京福祉 エクロナレ <i>体 七 仁</i> ・
所属コメント	また、能登半島地震への応援による知見を	生かし、地域防災計画や災害	時受援計画の見直し寺を行つた。 
(400文字)			

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
	頻発する豪雨や大規模地震による災害への		
	防災ナビや新たなDXの取組などにより、	市民にとって分かり易い防災	情報の発信や啓発に努める。
## B _ / \$			
部局コメント			
(400文字)			

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1223
 総務部危機・防災対策課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

事務事業番号 00218 防災事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 00218	防災事	<b>事業</b>	A 5- 0	^ <del></del> -	_ ^ <del>-</del>	A 7- 06-4 I	上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動) 防災意識啓発活	単位	令和 5年度 35.00	<u>令和 6年度</u> 35.00	令和 7年度 35.00	<u>令和 8年度</u> 35.00	令和 9年度 35.00	令和10年度 35.00 0.00	下段:実績値 令和11年度 35.00 0.00
動	回 指標説明	24.00 防災出前講座開	24. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	191示武功							
(成果)出前講座等の参 加者数	人	1, 500. 00 1, 087. 00	1, 500. 00 1, 319. 00	1, 500. 00 0. 00	1, 500. 00 0. 00	1, 500. 00 0. 00	1, 500. 00 0. 00	1, 500. 00 0. 00
	指標説明	出前講座等の参	加者数		,	•	•	
					l l	I	L	
						1		
					•			
			•	•		•	•	
					<u> </u>	1		
							L	
				1		T		
					•			
			I			[	Г	
						<u> </u>		
							T	
		1	-		•			
								<u> </u>
IP27P050	1	1		4 -				

整理番号 0016

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1223 総務部危機・防災対策課 所属 事務事業番号 00249 防災行政無線管理事業

所属長名 山本 茂 記入者 野口 成美

【基	+	性	ᇷ	٦.
▮本	AN.	目	¥₹	

【叁个'阴和 】							
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画					
基本方針	┃ 003   安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本政策	009 安心、安全に暮らすことのできるまちにします						
施策	021 災害に強いまちづくりの推進						
取組の方向性	003 災害情報の基盤整備						
事務事業	002 防災行政無線管理事業						
運営方法	直営						
評価区分	対象	主な取組区分	対象				
根拠法令等	災害対策基本法・武力攻撃 (事業概要)	事態等における国	民の保護のための	措置に関する法律			
事業概要	大規模災害の発生時には、被災地からの情報が途絶し、初動時において的確な災害対策を実施することが困難になることが考えられることから、情報収集、情報伝達手段として平成28年度に整備した防災行政無線(移動系デジタル方式)を中心にIP無線等、多様な伝達手段を組み合わせることで市内全域に対し、確実な情報伝達を図る。						
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	域的な災害が増加するなか 化する恐れのある地域への (見直しや改善等の経過) 災害発生時の安定した連絡	、国や他の防災機 対応が必要である 手段の確保として ュニティ無線を導	関との連絡手段の 。 防災行政無線(移	確保の他、特に山間 動系デジタル方式)	風や集中豪雨等大規模かつ広部において災害発生時に孤立 部において災害発生時に孤立 を導入(H28)、孤立化対策 を導入が関場無線を導入		
【事業分析】	1						
対象(何又は誰を)	災害時情報伝達機器である	防災行政無線及70	IP無線等を				

	(iii) of Alia ( IX ii) Alia (
【事業分析】	
対象(何又は誰を)	災害時情報伝達機器である防災行政無線及びIP無線等を
目的(何のために)	防災関係機関等への情報伝達のため
手段(どのようなやり方で)	適正な維持管理と定期通信訓練の実施により
成果(どのような	災害時の通信手段として確保する。
状態にするのか)	

【コスト】							(単位:千円)
	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	21, 284	22, 242	25, 474	41, 195	57, 075	46, 075	46, 575
事業費	13, 484	14, 442	17, 674	33, 395	49, 275	38, 275	38, 775
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	(
県支出金	0	0	0	0	0	0	C
地方債	0	0	1, 600	19, 800	9, 000	9, 000	7, 880
その他	0	0	0	0	0	0	C
一般財源	13, 484	14, 442	16, 074	13, 595	40, 275	29, 275	30, 895
人件費計	7, 800	7, 800	7, 800	7, 800	7, 800	7, 800	7, 800
事務・技術(人)	1. 00	1. 00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	C

整理番号 0016

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-69-90-00-04-00	防災行政無線管理事業費	総務部危機・防災対策課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)無線従事者資格 所有者の選任	ı	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00
が有名の歴任	^	2. 00	2. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)定期通信訓練実		34. 00	34. 00	34. 00	34. 00	34. 00	34. 00	34. 00
施回数	回	34. 00	34. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	1 <b>/</b> 1
1			С	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	電話の不通などを想定した	た代替	通信手段が必要であるため	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	lacksquare
2		ているか	С	あまり上がっていない	$oldsymbol{A}$
			D	上がっていない	7
	評価理由	緊急時の一斉伝達や情報の	の共有、	、収集の手段として有効	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ Ι
3			С	あまり効率的でない	$\vdash$
			D	効率的でない	
	評価理由	通信手段の整備を進めるこ	ことが	最も効率的であるため	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	lacksquare
4			С	あまり貢献していない	$\vdash$
			D	貢献していない	-
	評価理由	災害発生時における迅速	・確実	な通信手段の整備が進んでいるため	
	·				
	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価

計画どおり事業を進めることが適当

既存の無線機器等の安定した運用を図るため、今後も継続して定期訓練を実施するとともに、維持管理に努めていく。また、旧志賀町地域に整備されている同報系防災行政無線設備に関しては、老朽化等により令和6年11月末をもって廃止したが、国の方針からも改めて本市全域において同報系防災行政無線の利活用の可否について検討していくとともに、本市全域で運用している防災アプリ等の情報伝達手段の普及活動に引き続き努める。

(400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
	災害時には、防災情報を市民に的確に伝達		
	ともに、継続して無線機器の定期訓練を実		えて新たなDXの取組などの多様な情報
l	伝達手段の検討及びさらなる普及促進を図		
部局コメント	また、同報系防災行政無線の今後の導入の	可否について、検討を進める	0
(400文字)			

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1223
 総務部危機・防災対策課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

事務事業番号 00249 防災行政無線管理事業 上段:目標値 下段:実績値 下段:

事務事業番号 00249	防災征	行政無線管理事業					上段:目標値	下段:実績
<u>指標名</u> (活動) 無線従事者資格	単位	<u> </u>	<u> </u>	令和 7年度 2.00	令和 8年度 2.00	令和 9年度 2.00	令和10年度 2.00	<u>令和11年度</u> 2.00
听有者の選任	人	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
	指標説明	防災行政無線を	操作する第3級陸	<b>垫上特殊無線技士</b>	資格所有者選任	数		
成果)定期通信訓練実		34.00	34.00	34. 00	34. 00	34. 00	34. 00	34. 00
地回数 地回数	回	34.00	34.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
	指標説明	防災行政無線、	衛星電話及びIF	P無線(平成31	年度まではMC	A無線)の定期通	信訓練の実施回数	<b></b>
		1			I			
					l			
			T	T	T	1		
							•	
			I	Ι	ı		ı	
		+						
		1	l		l		<u>I</u>	
			T	1	ı			
			•	•	•		•	
					1			
		1			I			
		+		<u> </u>	<u> </u>			
		<u> </u>						
			l .	L	<u> </u>			
			1	ı	1			
							<u>I</u>	
			I	Γ	1			
	<u> </u>	<u> </u>						
		+					ı	
	•	I	ĺ					
			l .					
			l					
					Ι		1	

整理番号 0017

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 総務部危機・防災対策課 所属 1223 事務事業番号 02223 緊急防災対策推進事業

所属長名 山本 茂 記入者 軽野 政樹

【基本情報】

【基本]月報】					
総合計画	03 大津市総合計画 第	第2期実行計画			
基本方針	003 安心、快適に住み約	続けることのでき	そる活力のあるまちを創り	ます	
基本政策	009 安心、安全に暮らる	すことのできるま	きちにします		
施策	021 災害に強いまちづく	くりの推進			
取組の方向性	002 地域防災力の向上				
事務事業	002 緊急防災対策推進	事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	災害対策基本法・大津市災害	等対策基本条例			•
	(事業概要)				
	災害発生時に防災活動が迅速	をかつ的確に実施	できるよう、防災訓練や	「防災士養成事業」	」の実施により、防災関
	係機関との連携強化や自主防	5災組織の活性化	を図ることで地域防災力(	の向上に努める。	
<b>事業概</b>					
事業概要					
	(事業を取りまく社会環境)				
	東日本大震災・熊本地震・熊	と登半島地震や台	風等による風水害の頻発	化により大規模災	害が発生したときには、
	災害発生時の初期活動におけ				
事業を取りまく社会	(見直しや改善等の経過)				-
環境とこれまでの見直し	自主防災活動の一層の充実を	・図るにあたり、	地区防災計画の策定推進、	防災士の養成支	援の拡充とともに、地域
5,5,2 = 1,000 = 0,58 <u>E</u> 0	における訓練等での活動を仮				
	- JOS / WHITING ST CONTINUE IN		, 10,241-101 / WIRIN C 701		
【車業公長】	1				

対象(何又は誰を)	市域におられる全ての人、事業者を対象に
目的(何のために)	大規模災害において、地域住民の迅速・的確な防災活動による被害の最小化を図るために
手段(どのようなやり方で)	防災士養成による自主防災組織の充実と地区防災計画の策定推進に加え、各種防災訓練の実施により
成果(どのような 状態にするのか)	地域住民の自主的・組織的な防災活動の活性化と災害対応力が高まることで地域防災力を強化する。

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		33, 921	35, 064	74, 522	61, 870	34, 863	34, 863	34, 863
事	<b>業費</b>	4, 241	4, 984	44, 442	31, 790	4, 783	4, 783	4, 783
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	40, 000	0	0	0	0
	その他	100	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4, 141	4, 984	4, 442	31, 790	4, 783	4, 783	4, 783
人作	牛費計	29, 680	30, 080	30, 080	30, 080	30, 080	30, 080	30, 080
	事務・技術(人)	3. 60	3. 60	3. 60	3. 60	3. 60	3. 60	3. 60
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50
	嘱託(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
その	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0017

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-69-90-00-06-00	緊急防災対策推進事業費	総務部危機・防災対策課

【定量評価】		•		•		•	上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)防災士の養成数	1	50. 00	50. 00	50. 00	50.00	50. 00	50.00	50.00
	^	35. 00	38. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)防災士目標達成 率 ※令和6年度まで	%	100. 00	100. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
学 公市和り年度まじ	90	70. 00	76. 00	0. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00
(成果)地区防災計画策 定率 ※令和7年度か	%	0. 00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
定年 然市和7年度が ら	70	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			D	妥当ではない	<i>,</i> .
	評価理由	自主防災組織の充実強化に	こより、	、地域防災力の向上につながるため	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	防災士養成事業の着実な排	隹進が[	図れているため	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	A
			D	効率的でない	<i>,</i> ,
	評価理由	全学区で防災士を養成し、	女性(	の参画も増加しているため	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	A
			D	貢献していない	<i>,</i> ,
	評価理由	自主防災組織の体制強化と	上災害:	対応力の向上を促進している	
	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価

計画どおり事業を進めることが適当

事業の方向性

が大

令和6年度は、地区防災計画の策定の推進に加え、38人の防災士を養成し、うち13人の女性が防災士の資格を取得した。また、これまで養成した防災士についても、消防局の協力を得ながらフォローアップ研修を実施し、自主防災会の活性に努めた。大津市総合防災訓練については、小野学区で実施し、住民、行政関係者及び関係所属コメント
(400文字)

「体約1,200人が参加し、災害時において関係者が連携して、迅速かつ的確に対応できる体制の確立と市民の防災意識の向上を図った。今後も引き続き、地区防災計画の策定支援(令和6年度末 25/36学区策定済)や防災訓練の実施により、行政と地域住民の連携を強固にし、地域防災力の向上を図る。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
	防災士の養成については、滋賀県と協議し	ノ、本市からの受講枠を確保す	るとともに、要請後のフォローアップ研
	修において最新の防災情報等を提供しスキ		
	災ナビ等により分かり易く伝わるよう工夫	<b>きするとともに、地域の訓練を</b>	通じて市民周知に努めることや地区防災
部局コメント	計画の策定などを通じ、地域防災力の向よ	ニを目指す。	
(400文字)			

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1223
 総務部危機・防災対策課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

総合計画 03 大洋市総合計画 第2朔美打計画 事務事業番号 02223 緊急防災対策推進事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 02223	緊急	防災対策推進事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	<u> </u>	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	<u>令和 9年度</u> 50.00	令和10年度 50.00	令和11年度 50.00
(活動) 防災士の養成数	人	35. 00	50. 00 38. 00	50. 00 0. 00	50. 00 0. 00	50.00 0.00	50. 00 0. 00	50. 00 0. 00
	指標説明	防災士資格取得	者数(令和2年度	<b>まから50人×7</b>	年計画)	3. 55	<u></u>	5. 55
(成果) 防災士目標達成		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
率 ※令和6年度まで	%	70.00	76.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
	指標説明	防災士達成率(	目標:100%)					
(成果)地区防災計画策	%	0.00	0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100.00
定率 ※令和7年度から	指標説明	0.00 計画の第定率 (	0.00 目標:100%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	10 100 00 01	们自 <b>少</b> 米是中(	口标: 100/0/					
			•			•	•	
		+						
			1	Ī	1			
							•	
		+			1			
		+						
							<u>.</u>	
		+			1			
			ı	ı	1			
							_	
			1		I I	I		
					<u> </u>		<u> </u>	
			T	T	T T		T	
		<u> </u>			<u> </u>			
		1				I		
		<del> </del>						
		<u> </u>						
		1	l	L	<u> </u>	l	L	
		ļ	T	Т	, ,			
		1						
			-	-	-			
		+				1	ı	
P27P050		<u> </u>						

評価完了

進捗区分

整理番号 0018

令和 6年度

評価年度

総務部危機・防災対策課 1223 所属 事務事業番号 02367 情報通信基盤整備事業

所属長名 山本 茂 野口 成美 記入者

【其太情報】

【基本情報】										
総合計画	03 大津市総合計	03 大津市総合計画 第2期実行計画								
基本方針	003 安心、快適に	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	009 安心、安全に	009 安心、安全に暮らすことのできるまちにします								
施策	021 災害に強いま	021 災害に強いまちづくりの推進								
取組の方向性	003 災害情報の基	003 災害情報の基盤整備								
事務事業	004 情報通信基盤	004 情報通信基盤整備事業								
運営方法	直営									
評価区分	対象	主な取組区分	対象							
根拠法令等	災害対策基本法・武力	攻撃事態等における国	民の保護のための	)措置に関する法律						
	(事業概要)			,						
	総合防災情報システム	総合防災情報システムの活用により、災害発生時等における被害情報などの一元管理と情報共有を図り、災害対								
	応を迅速かつ的確に行	応を迅速かつ的確に行う。								
**************************************										
事業概要										
	(事業を取りまく社会理	<b>環境</b> )								
	大雨など大規模かつ広	大雨など大規模かつ広域的な災害が近年多発するほか、琵琶湖西岸断層帯や南海トラフによる大規模地震と土砂								
	災害による災害発生が									
事業を取りまく社会	(見直しや改善等の経過									
環境とこれまでの見直し		<del>-</del> '	・有効的に情報共	t有が図れる総合防災	情報システムを平成31年3					
現現とこれの Cの元直の	月から運用し、パッケ									
	/1% 5 E/11 C( / 1.) /	ンサバネロに行がら	(E 4 E 4 O)(400	歴立へ フコンノノ						
【事業分析】										
対象(何又は誰を)	本市災害対応指揮機関	I-								
/3 外(門人)の唯て/	<b>本中火ロ外が101年1成</b> 国	ı~								
日か(気のために)	 災害時における情報の	旧生し八七ートァタサロ	1 + + + + + + + +							
目的(何のために)	火舌吋にゐける情報の	収集と万仞による結果	そで共有りるにめ							
	•									

手段(どのようなやり方で)

成果(どのような

状態にするのか)

迅速・確実な災害対応を行う。

総合防災情報システムの運用による情報の一元管理を行い

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	タルコスト	7, 524	7, 524	7, 524	7, 524	7, 524	7, 524	7, 524
H.	事業費	3, 234	3, 234	3, 234	3, 234	3, 234	3, 234	3, 234
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3, 234	3, 234	3, 234	3, 234	3, 234	3, 234	3, 234
	<b>人件費計</b>	4, 290	4, 290	4, 290	4, 290	4, 290	4, 290	4, 290
	事務・技術(人)	0. 55	0. 55	0. 55	0. 55	0. 55	0. 55	0. 55
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
7	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0018

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1223
 総務部危機・防災対策課

 事務事業番号
 02367
 情報通信基盤整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-69-90-00-07-00	情報通信基盤整備事業費	総務部危機・防災対策課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)総合防災情報シ ステム操作訓練	回	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
へ / 五採作訓練	비	14. 00	12. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)訓練参加者数		800.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00
	^	820. 00	1, 126. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

[	定性評価】				•
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
				妥当ではない	<i>,</i> ,
	評価理由	データを一元管理すること	こで効果	果的な情報の収集・共有が図れる	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	A
			D	上がっていない	<i>,</i> ,
	評価理由	災害発生時に迅速な情報場	又集がつ	できるため	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	効率的でない	
	評価理由	被害情報等の一元管理によ	より情報	<b>報整理や分析の効率が向上</b>	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
			D	貢献していない	<i>,</i> ,
	評価理由	情報の一元化により迅速な	いつ的研	権な災害対応の実施に繋がる	
					<u> </u>
	評価理由				

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	総合防災情報システムについては、今後も える。また、国や県の動向にも留意し、災		

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1223
 総務部危機・防災対策課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

 事務事業番号
 02367
 情報通信基盤整備事業

事務事業番号 02367 情報通信基盤整備事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 02367	情報通	值信基盤整備事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)総合防災情報シ	単位	令和 5年度 12.00	令和 6年度 12.00	令和 7年度 12.00	令和 8年度 12.00	令和 9年度 12.00	令和10年度	<u>令和11年度</u> 12.00
(活動) 総合防災情報シ ステム操作訓練	回	12. 00 14. 00	12. 00 12. 00	12. 00 0. 00	12. 00 0. 00	12. 00 0. 00	<u>令和10年度</u> 12.00 0.00	12. 00 0. 00
人 / 五床下咖啡	指標説明	総合防災情報シ	ステムを利用し <i>た</i>	<u>□ 0.00</u> ≿訓練等の実施回		0.00	0.00	0.00
(武田) 訓练会加多数					800.00	900 00 1	900 00 1	800.00
(成果)訓練参加者数	人	800. 00 820. 00	800. 00 1, 126. 00	800. 00 0. 00	0.00	800. 00 0. 00	800. 00 0. 00	0.00
	指標説明	総合防災情報シ	ステムを利用した	≿訓練等の参加人	.数	5. 55	0.00	
				Г	1			
				<u>I</u>	1	<u> </u>		
				1	1			
				•		•	•	
							I	
			T	T	1			
				•				
				<u> </u>				
				<u> </u>				
							T	
				<u>I</u>	1		<u> </u>	
				ı	1		-	
					•		l.	
				Ι	<u> </u>	-	1	
				<u></u>				
							•	
				<u> </u>		1	T	
							I	
P27P050	1	1						

整理番号 0019

令和 6年度 評価年度 所属

進捗区分 評価完了 総務部危機・防災対策課 1223 事務事業番号 04179 個別避難計画作成推進事業

所属長名 津田 洋樹 記入者

【其太悟報】

【基本情報】									
総合計画	03 大津市総合計員	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策	009 安心、安全に	暮らすことのできるま	きたします						
施策	021 災害に強いま	ちづくりの推進							
取組の方向性	002 地域防災力の「	<b></b>							
事務事業	014 個別避難計画(	作成推進事業							
運営方法	直営		_						
評価区分	対象	主な取組区分	対象外						
根拠法令等	災害対策基本法、大津市								
					れた避難行動要支援者ごとに				
				- 1	のことから、避難行動要支援				
	者一人ひとりについて、	避難支援美施者、避	<b>難先、避難万法等</b>	をまとめた計画書の	作成を推進する。				
事業概要									
	近年 人国的广名祭才 2	白好巛宝にむいて	タノの京齢者が時'	主 孝 が 性 州 に か っ て	おり、国において、高齢者や				
					のり、国にのいて、同断有で 災害時の避難支援等を実効性				
					火音時の避無又援寺で美効性 において、国の指針(「避難				
事業を取りまく社会					簿掲載者のうち、優先的に作				
事果で取りまく社会 環境とこれまでの見直し	成する者※について、全		· · <del>-</del> · · · · · · · · · · ·						
塚光とこれよ この元回し	がり の日本に ついて、 T	1141/十段本の元队で	ロコロロ凹が煙無引	当り15次かたのりりん	C 0 - 20 0				
	※大津市における優先が	F成分象老什十孙兴宝	(蛙別) 擎戒反恸	及水大河川(瀬田川	、大戸川、草津川)流域で想				
	定浸水深0.5メートル以			人の人内川 (原田川	、八八八、千千八八 加多 (心				
 【事業分析】	Z-1X/1/1/X 0. 07 1 70 X		<b>₩</b> 11 0						
対象(何又は誰を)	災害発生時等の避難に支	7揺が必要な避難行動	要支援者名簿登載:	者を対象に					
パタ(ログ)の座と/	スロルエッサッを知じる		スヘIX ロ ロ母豆製.	I CAMIC					

目的(何のために) 避難行動要支援者が避難支援実施者の支援を受けて、安全、確実に避難ができるよう

手段(どのようなやり方で) 避難支援実施者、避難先、避難方法等をまとめた個別避難計画を作成し

成果(どのような 状態にするのか) 個別避難計画に基づく避難行動を実施することにより、避難行動要支援者の生命・身体の安全が守られる

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
ータルコスト	26, 533	26, 534	27, 149	29, 573	29, 573	29, 573	29, 573
事業費	1, 027	482	1, 097	3, 521	3, 521	3, 521	3, 521
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	(
県支出金	0	0	0	0	0	0	(
地方債	0	0	0	0	0	0	(
その他	0	0	0	0	0	0	
一般財源	1, 027	482	1, 097	3, 521	3, 521	3, 521	3, 52
人件費計	25, 506	26, 052	26, 052	26, 052	26, 052	26, 052	26, 05
事務・技術(人)	3. 27	3. 34	3. 34	3. 34	3. 34	3. 34	3. 3
技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 0
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 0
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 0
その他経費	0	0	0	0	0	0	(

整理番号 0019

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-69-90-00-09-00	個別避難計画作成推進事業費	総務部危機・防災対策課

【定量評価】	•	•	•			•	上段:目標値	· 下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)個別避難計画啓 発活動		9. 00	9. 00	9. 00	9. 00	9. 00	9. 00	9. 00
<b>光</b> /1 到	ш	17. 00	9. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)計画作成同意者	0/	40. 00	40. 00	40.00	50.00	50.00	50.00	50. 00
率	%	35. 67	39. 27	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

[	定性評価】				•
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			D	妥当ではない	<i>,</i> ,
	評価理由	市民の生命、身体及び財産	産を災害	書から守る責務を有しているため	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	A
			D	上がっていない	<i>,</i> ,
	評価理由	市民との対面による意識限	啓発の	幾会を拡大した	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	効率的でない	
	評価理由	機会を逃さず効率的に事業	業が実績	施できた	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
			D	貢献していない	<i>,</i> ,
	評価理由	市民への意識啓発により同	司意率	が向上した	
					_
	評価理由				·

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
	災害時に避難行動要支援者が確実に避難さ	れるためには、可能な限り多	くの個別避難計画を作成することが必要
	である。このことから、計画作成に同意さ	れる方が増えていくよう、更	なる啓発活動に努めるとともに、令和3
	年5月の災害対策基本法改正から5年が経	過する令和8年に向けた今後	の新たな取組方針について検討する。
部局コメント			
(400文字)			

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1223
 総務部危機・防災対策課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

事務事業番号 04179		避難計画作成推進	事業	_ ^	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	A 7- 06-4	上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動) 個別避難計画啓	単位	<u>令和 5年度</u> 9.00	令和 6年度 9.00	令和 7年度 9.00	<u> </u>	<u>令和 9年度</u> 9.00	令和10年度 9.00 0.00	令和11年度 9.00
発活動	回 指標説明	17 00	9 00	0 00	0 00	0.00	0.00	0. 00
	拍标就坍	山削誦座寺にお   ※事務事業番号	ける個別避難計 <u>00218「防災事業</u>	ョの周丸 <u>[」から移譲しま</u>	した			
(成果)計画作成同意者 率	%	40. 00 35. 67	40.00 39.27	画の周知 :」から移譲しま   40.00   0.00	50.00 0.00	50. 00 0. 00	50. 00 0. 00	50. 00 0. 00
-	指標説明	l計画作成対象者	のうち計画作成し	こ同意された方の	)率	0. 00	0. 00	0.00
		<u>── ※事務事業番号</u> 	<u>00218 □防災事業</u> ┃	」から移譲しま	した 			
			•	•	•		•	
			I	1	I			
	-	+	]	]				
					1			
							L	
			T	T	1			
			<del>1</del>	<del>1</del>	<u>I</u>		Į.	
			-	-	1	_	<u> </u>	
			1	1	<u>I</u>		I	
			T	T	I		T T	
					I.			
			1	1				
				1				
	-		<u> </u>	<u> </u>				
			T	T	T			
		1						
			<u> </u>	<u> </u>				

整理番号 0020

評価年度 令和 6年度

令和 6年度進捗区分評価完了1203総務部人事課

· 評価完了 所属長名 仲野 全彦 記入者 安孫子 典子

事務事業番号 01241 職員健康管理対策事業

	本		1

所属

【至个月刊】									
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画								
基本方針	003 安心、快適に住み網	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策	013 徹底した行財政改革	革を進め、確かな	お市経営を進めます						
施策	033 社会状況の変化に対	対応した持続可能	とな都市経営						
取組の方向性	001 行財政改革と効率的	内な行財政運営							
事務事業	041 職員健康管理対策	事業 業							
運営方法	直営			<u> </u>					
評価区分	対象	主な取組区分	対象						
根拠法令等	労働安全衛生法他								
事業概要	(事業概要) 労働安全衛生法及び大津市職 プログラム等に基づき、職員 る悩み事、困り事などの各種	の安全と健康の	確保及び快適な職場環境の						
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 生活環境の変化や長時間労働 ル不全に対する予防や対策が 済組合員となったため、同総 (見直しや改善等の経過) 健康管理医や保健師等の配置 トレスチェックの集団分析総	が必要となってい 1合と連携を図り 1及び対応によっ	る。また、令和4年10 事業を展開しているとこ て相談体制等の充実を図	月からパートタイ ろである。 るとともに、カウ	ム会計年度任用職員が共 ンセリングの実施及びス				

	-	-114		1- 1
•	里	¥	~	TH- 1
	#	$\star$	71	471 1

_【事業分析】	
対象(何又は誰を)	全職員及び全職場に対し
目的(何のために)	職員の心身における健康の保持増進を図るため
手段(どのようなやり方で)	各種健康診断やカウンセリング及びストレスチェックの実施、安全衛生委員会の開催、相談窓口の周知によって
成果(どのような 状態にするのか)	心身の不調による休職者の減少及び快適な職場環境を形成する。

			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
			決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
7		ルコスト	75, 879	79, 871	88, 858	88, 858	88, 858	88, 858	88, 858
	事	業費	36, 699	36, 161	43, 928	43, 928	43, 928	43, 928	43, 928
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	2, 375	2, 524	2, 806	2, 806	2, 806	2, 806	2, 806
		一般財源	34, 324	33, 637	41, 122	41, 122	41, 122	41, 122	41, 122
	人	牛費計	39, 180	43, 710	44, 930	44, 930	44, 930	44, 930	44, 930
		事務・技術(人)	3. 30	3. 45	3. 35	3. 35	3. 35	3. 35	3. 35
		技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用(人)	4. 20	4. 20	4. 70	4. 70	4. 70	4. 70	4. 70
		嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	その	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

評価完了

整理番号 0020

評価年度 令和 6年度 進捗区分

所属 1203 総務部人事課 事務事業番号 01241 職員健康管理対策事業

【関連予算情報】

	予算事業	予算事業番号	予算所属名称
I	01-10-05-30-50-00-05-00	職員健康管理対策事業費	総務部人事課
ſ			
٢	·		

【定量評価】					-		上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)健康診断受診者	ı	4, 200. 00	4, 200. 00	4, 200. 00	4, 200. 00	4, 200. 00	4, 200. 00	4, 200. 00
<b>数</b>	^	4, 014. 00	4, 028. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)精検受診率	%	100. 00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
	70	74. 10	79. 50	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)相談件数	件	2, 500. 00	2, 500. 00	2, 500. 00	2, 500. 00	2, 500. 00	2, 500. 00	2, 500. 00
	1+	3, 730. 00	3, 213. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)病気休職者数	_	80. 00	80. 00	80. 00	80.00	80.00	80.00	80.00
	^	140. 00	129. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
				妥当ではない	<b>,</b> ,
	評価理由	職員の心身の健康保持増近	進は事業	業主の責務である	
	有効性	事業分析の「成果」欄		上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	相談しやすい体制のもとる	下調を 持	包えた職員への支援を強化している	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{A}$
				効率的でない	
	評価理由	健康管理に係る各種事業の	り活用	や所属へのサポートに努めている	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{A}$
			D	貢献していない	
	評価理由	職員の健康管理や相談体制	訓の充乳	実、職場環境の改善を図っている	
	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 共済組合と連携を図り職員の健康管理に関する各種事業や対応について継続実施しながら、健康診断結果やストレスチェックの集団分析結果を受け、そのフォロー体制を整えていく。また、復職支援プログラムに基づき健康管理医や所属関係者と連携を図りながら長期休職者への支援を継続していく。加えて、ハラスメントの防止について、関係機関と十分に連携を図りながら相談しやすい体制づくりと早期対応に努める。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	各種健康診断をはじめ、産業心理カウンセ まえたフォロー体制の強化に努める。また ハラスメントのない「働きやすい職場環境	、職位に応じた研修や相談し	

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

1203 総務部人事課 所属

総合計画 03

大津市総合計画 第2期実行計画 職員健康管理対策事業

事務事業番号 01241	職員係	建康管理対策事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)健康診断受診者	単位	令和 5年度 4,200.00	令和 6年度 4,200.00	<u>令和 7年度</u> 4, 200.00	令和 8年度 4,200.00	令和 9年度 4,200.00	令和10年度 4, 200.00	令和11年度 4, 200. 00
数	人 指標説明	4,014.00 健康診断受診者数	4, 028. 00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00
/ <del>************************************</del>	161末のパラ)			100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(成果)精検受診率	%	100. 00 74. 10	100. 00 79. 50	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
	指標説明	精検受診者数/料	<b>青検受診対象者数</b>	!				
(活動)相談件数	件	2, 500. 00 3, 730. 00	2, 500. 00 3, 213. 00	2, 500. 00 0. 00	2, 500. 00 0. 00	2, 500. 00 0. 00	2, 500. 00 0. 00	2, 500. 00 0. 00
	指標説明	各種相談件数	ა, 21ა. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)病気休職者数	人	80.00	80.00	80.00	80. 00	80.00	80.00	80. 00
	指標説明	140.00 長期(30日以	129.00 L) 休職対象者	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	11 12 12 12	EM (0.01%)						
			L.		•		•	
	-		Ī		I	1	Ι	
		1						
		<u> </u>						
							I	
	-		Ī					
	-							
	-		T		Г	ı	Г	
		<u> </u>				•		
	<u></u>							
	1							
	<del>                                     </del>					I		
	ļ		•	1	Г	Т	ı	
	<u> </u>							
IP27P050	-	-		60				

整理番号 0021

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1203 所属

仲野 全彦 所属長名 総務部人事課 記入者 安孫子 典子

事務事業番号 01242 職員互助会負担事業

<b>7</b> #	本	性	#6	1
【本	44.	目	羊収	1

【 <b>本</b> 个旧和】								
総合計画	03 大津市総合語	計画 第2期実行計画						
基本方針	003 安心、快適	こ住み続けることのでき	る活力のあるま	ちを創ります				
基本政策	013 徹底した行具	財政改革を進め、確かな	都市経営を進め	ます				
施策	033 社会状況の3	変化に対応した持続可能	な都市経営					
取組の方向性	001 行財政改革。	と効率的な行財政運営						
事務事業	023 職員互助会負	負担事業						
運営方法	その他							
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
根拠法令等	地方公務員法・大津市	ī職員互助会設置条例						
事業概要			負担を行い、職員	員及び職員家族の相	互共済と福祉の増進に努める。			
(事業を取りまく社会環境) 互助会事業を取り巻く厳しい社会情勢の中、地方公務員法第42条に定められている職員の福利厚生事業の実施 のため、市民への理解と説明責任が果たせる事業を推進していく。 事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し (見直しや改善等の経過) 事業区分を市負担事業と会費単独事業に区分けするとともに、給付事業見直し、さらには事業のアウトソーシン グ化(外部委託)やカフェテリアプランを導入するなど事業の充実と合わせ事務の効率化を図っている。								

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	大津市職員互助会に対して
目的(何のために)	職員及び職員家族の相互共済の福祉の増進を図るため
手段(どのようなやり方で)	事業実施経費の一部を負担し
成果(どのような 状態にするのか)	職員の福利厚生を図り、職務に対する活力を創造する。

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10, 710	11, 116	11, 620	11, 620	11, 620	11, 620	11, 620
事業費	7, 980	7, 996	8, 500	8, 500	8, 500	8, 500	8, 500
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	(
県支出金	0	0	0	0	0	0	C
地方債	0	0	0	0	0	0	C
その他	0	0	0	0	0	0	C
一般財源	7, 980	7, 996	8, 500	8, 500	8, 500	8, 500	8, 500
人件費計	2, 730	3, 120	3, 120	3, 120	3, 120	3, 120	3, 120
事務・技術(人)	0. 35	0. 40	0. 40	0. 40	0.40	0. 40	0. 40
技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	(

整理番号 0021

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1203 総務部人事課 事務事業番号 01242 職員互助会負担事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-30-50-00-06-00	職員互助会負担金	総務部人事課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)負担金割合	%	11. 00	11. 00	11.00	11.00	11.00	11.00	11. 00
	70	11. 60	11. 30	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)負担金額	千円	8, 000. 00	8, 400. 00	8, 500. 00	8, 500. 00	8, 500. 00	8, 500. 00	8, 500. 00
	TH	7, 980. 00	7, 996. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)互助会助成利用	件	15, 000. 00	30, 000. 00	30, 000. 00	30, 000. 00	30, 000. 00	30, 000. 00	30, 000. 00
件数	<del>                                      </del>	33, 381. 00	30, 445. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

[	定性評価】	l l			
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			D	妥当ではない	
	評価理由	地方公務員法に基づき事業	美主とし	して福利厚生事業を行う必要がある	
	有効性	事業分析の「成果」欄		上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	公費負担事業の精査や職員	<b>ミニー</b> ス	ズの対応に努めている	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{A}$
			D	効率的でない	•
	評価理由	事業の充実に向け、経費問	削減及7	<b>『事務の効率化を図っている</b>	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	
4			С	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	福利厚生事業の実施により	り職員(	D心身のリフレッシュに努めている	
l	評価理由		•		

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 職員の相互交流と心身のリフレッシュを促進するため、職員のニーズに柔軟に対応できるよう互助会制度の利便性の向上を図るとともに、市民の理解が得られる事業として適正な運営に努める。

所属コメント (400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	公費負担については、市民の理解が得られ	んよう引き続き事業の精査に	努め、職員の福利厚生事業をより有効で
	効率的に展開する。		
部局コメント			
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1203 総務部人事課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

総合計画 03 大洋市総合計画 第2朔美行計画 事務事業番号 01242 職員互助会負担事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 01242		互助会負担事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)負担金割合	単位	令和 5年度 11.00	<u>令和 6年度</u> 11.00	令和 7年度 11.00	令和 8年度 11.00	令和 9年度 11.00	令和10年度 11.00	令和11年度 11.00
(泊期) 其担亚司口	%	11.60	11. 30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	互助会全体事業	費に占める市負担	金の割合				
(活動)負担金額	千円	8, 000. 00 7, 980. 00	8, 400. 00 7, 996. 00	8, 500. 00 0. 00	8, 500. 00 0. 00	8, 500. 00 0. 00	8, 500. 00 0. 00	8, 500. 00
	指標説明	7,980.00 職員互助会への <sup>4</sup>	7,996.00 年間負扣金額	0. 00	0. 00	0.00	0. 00	0.00
/라田) 도마스마라웨田				20, 000, 001	20, 000, 001	20, 000, 001	20,000,001	20, 000, 00
(成果)互助会助成利用 件数	件	15, 000. 00 33, 381. 00	30, 000. 00 30, 445. 00	30, 000. 00 0. 00				
	指標説明	福利厚生サービス	ス等を利用した件	-数				
				ı				
				ı				
			1	I	T	T		
				•	·	•	•	
			I		I	Ī		
				T				
				<u> </u>				
			ı	ı	T	1		
				•	•	•	•	
					I			
		<del>                                     </del>	1	Т	ī	ı.	ı	
		1						
		+	I	ı	1	Ī	Г	
					ı			
			1	I	1			
		1						
				-			<u>.</u>	
				<u>'</u>	•		<u>'</u>	
IP27P050	1			62				

整理番号 0022

評価年度 令和 6年度

和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1203 総務部人事課 事務事業番号 01243 職員研修事業

部人事課 証終事業

所属長名長谷川 一恵記入者菅沼 匡人

于切于木田勺 VI2-10	<b>似只可炒于木</b>								
【基本情報】									
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画								
基本方針	****	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策		財政改革を進め、確かな		す					
施策		変化に対応した持続可能	とな都市経営						
取組の方向性		と効率的な行財政運営							
事務事業	040 職員研修事業	業							
運営方法	直営								
評価区分	対象	主な取組区分	対象外						
根拠法令等	地方公務員法・大津市	ī職員研修規程							
	(事業概要)								
					求められるとともに、多様				
					備えた職員の育成が求めら				
   事業概要	れている。このため、	階層別研修や特別研修	等を充実させ、併っ	せて職場研修による人	材育成により、市民満足度				
<b>学未似女</b>	の充実を図る。								
	(事業を取りまく社会)	環境)							
	人口減少社会の中で、	持続可能な組織づくり	のため、職員には	これまでの政策形成能	力やコミュニケーション能				
	力に加え、働き方改革	もや業務効率化に向けた	視点、新しいテク	ノロジーへの対応など	新たな能力や知識が求めら				
事業を取りまく社会	れている。								
環境とこれまでの見直し	(これまでの見直し)								
	令和5年度に「大津市	「人材育成基本方針」を	改訂し、職員とし	て持つべき意識や能力	の明確化を行った。本市の				
	課題や受講後の研修ア	プンケート等を踏まえ、	研修の内容や実施ス	方法等の見直しを図る	とともに、職員のモチベー				
	ションや大津市職員と	:して必要な能力の向上	.に繋がる研修を導.	入している。					
【事業分析】									
対象(何又は誰を)	職員								
目的(何のために)	市職員としての責務を	自覚するとともに、人	.材育成と能力の向.	上を図る。また、急速	に変化する社会環境に即応				
	し、市民ニーズに的確	置に応えることができる	職員の育成を図る	ことを目的とする。					
				–					

目的(何のために)	市職員としての責務を自覚するとともに、人材育成と能力の向上を図る。また、急速に変化する社会環境に即応し、市民ニーズに的確に応えることができる職員の育成を図ることを目的とする。
手段(どのようなやり方で)	職場外研修(階層別研修・特別研修)及び職場内研修(OJT)
成果(どのような 状態にするのか)	職員の資質の向上や能力開発をすることで、職場組織の活性化や効率的な行政運営、市民サービスの向上を図る。

[ =	コス	<b> - </b>							(単位:千円)
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
			決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
۲-	-タ	ルコスト	17, 859	19, 475	22, 502	22, 502	22, 502	22, 502	22, 502
	事	<b>養</b>	6, 139	7, 979	11, 942	11, 942	11, 942	11, 942	11, 942
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	6, 139	7, 979	11, 942	11, 942	11, 942	11, 942	11, 942
	人们	牛費計	11, 720	11, 496	10, 560	10, 560	10, 560	10, 560	10, 560
		事務・技術(人)	1. 40	1. 32	1. 20	1. 20	1. 20	1. 20	1. 20
		技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用(人)	0. 25	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30
		嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

IP27P040 -64-

整理番号 0022

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

所属 1203 総務部人事課 事務事業番号 01243 職員研修事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-30-56-00-01-00	職員研修費	総務部人事課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)内部職員研修実 施回数		27. 00	27. 00	27. 00	27. 00	27. 00	27. 00	27. 00
旭四奴	IJ	25. 00	28. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)研修受講満足度	%	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
	%0	86. 80	87. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)知識・技能の習	0.4	100. 00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
得	%	87. 00	87. 30	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
廃止(活動)派遣研修派		200. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
遣職員数	<b>~</b>	316. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
				妥当ではない	<i>,</i> ,
	評価理由	本市の課題に即した人材育	育成を行	行う必要があり、妥当である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
				上がっていない	
	評価理由	知識、技術の習得度及び研	开修满足	足度ともに増えている。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	
3			С	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	研修の成果が上がっており	リ、費用	用対効果が図れている。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	
4			С	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	職員の働き方改革の意識的	譲成やタ	印識向上により貢献している。	
1					
1					
	評価理由				

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和6年度より、次の3つの研修を新設し「若手職員コミュニケーション研修」階層した、採用5年目職員・主任級3年目職員「OJT指導者研修」OJT強化のため、OJTに係るマネジメント・コミュニケー「人事評価研修」人事評価結果の部局間の対象とした人事評価に関する研修を実施し	を超えたコミュニケーション を対象とする研修。 従来の新規採用職員指導担当 -ションスキル向上の研修を実 りばらつき解消を目的として、	の強化及びチームビルディングを目的と 者に加え、係長級2年目職員を対象に、 施した。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	効率的で持続可能な執行体制構築のため、 上を図るとともに、組織力強化に繋がるよれがやる気とやりがいを持って働き続けら	うな研修を実施する。また、	人材育成基本方針に基づき、職員それぞ

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1203 総務部人事課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 01243 職員研修事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 01243		<b>付修事</b> 業	A10 0 5 5	A 15 7 F F	<b>↑15.0</b> ← ↔	A10 0 5 5	上段:日標個	
指標名 (活動) 内部職員研修実	単位	<u>令和 5年度</u> 27.00	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u>令和 9年度</u> 27.00	令和10年度 27.00	<u>令和11年度</u> 27.00
施回数	回	25. 00	28. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	実施回数						
(成果)研修受講満足度	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	86.80	87.00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0. 00
	拍倧說明	研修受講後のア	ンケート結果(ネ	両足・はは満足 <i>)</i>				
(成果)知識・技能の習	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
得	指標説明	87.00 研修受講後のア	87.30	0.00 □識・老え方・技	0.00	0.00	0.00	0. 00
	ולי שלוו אלו דונ							
廃止(活動)派遣研修派 遣職員数	人	200. 00 316. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00
<b>追</b> 哪貝奴	指標説明	派遣職員数 ※	<u> </u>		10.00 B研修(階層別研(	<u>0.00</u> 多及び特別研修)	により成果評価で	・ を行うため、
		令和5年をもっ	て活動指標を廃」	とする。	1			
							•	
					I		<u> </u>	
					I			
							l l	
					I		<u> </u>	
					1			
							<u> </u>	
				1				
	-	-			<u> </u>		<del>                                     </del>	
	<u></u>							
			<u> </u>					<u> </u>
	<u>L</u>	1						
	-	+			<u> </u>		<u> </u>	
					_			
							1	
		1	<u> </u>		<u>I</u>		<u> </u>	
IP27P050				CC				

令和 7年 9月18日

### 事務事業評価シート(1/2)

整理番号 0023

評価年度 令和 6年度 所属

進捗区分 1203 総務部人事課

評価完了 所属長名 仲野 全彦 記入者 仲野 全彦

事務事業番号 04210 障害者雇用促進事業

【基本情報】	
--------	--

【本个月刊】									
総合計画	03 大津市総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画							
基本方針	001 子どもから高齢者	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります							
基本政策	002 心豊かに暮らせる	る、福祉が充実した	:まちにします						
施策	005 障害者の福祉の充	<b>E</b> 実							
取組の方向性	001 障害者の就労支援	受の推進 しゅうしゅう							
事務事業	005 障害者雇用促進事	業							
運営方法	直営								
評価区分	対象	主な取組区分	対象外						
根拠法令等	障害者の雇用の促進等に関	する法律、障害を	理由とする差別の解消	の推進に関する法					
事業概要	障害者雇用の促進を図る 進に向けた取組の骨子」に 、すべての職員が働きやす	基づき、障害者の	職域拡大及び職員の意	識改革の取組を全	6定した「障害者雇用の促 庁挙げて進めることにより				
,									
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	求められており、民間企業 る。 (これまでの見直し)	会的要請の高まり を率先垂範する立 ため、令和4年10月	場にある本市において 目に事務サポートセン	も、更なる障害者 ターを開設し、「降	就労の場を創出することが 雇用の推進を図る必要があ 章害者雇用の促進に向けた				
【事業分析】	•								

【事	業	分	析	1

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	障害のある者(職員)が
目的(何のために)	自らの希望や障害の特性に応じて、無理なく安定的に働くことができるよう、
手段(どのようなやり方で)	「障害者雇用の促進に向けた取組の骨子」で定めた取組を継続して実施することにより、
成果(どのような 状態にするのか)	誰もが働きやすく自らの能力を最大限発揮できる職場環境を整備し、障害者の雇用拡大及び就労定着を図る

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	タルコスト	20, 950	25, 637	19, 039	25, 722	26, 287	26, 287	26, 287
事	<b>事業費</b>	2, 860	3, 307	3, 949	5, 632	6, 197	6, 197	6, 197
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2, 860	3, 307	3, 949	5, 632	6, 197	6, 197	6, 197
人	、件費計	18, 090	22, 330	15, 090	20, 090	20, 090		20, 090
	事務・技術(人)	1. 95	2. 35	1. 55	1. 55	1. 55	1. 55	1. 55
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 90	1. 00	0. 75	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0023

評価年度 令和 6年度

評価完了 進捗区分 1203 総務部人事課 障害者雇用促進事業

事務事業番号 04210

所属

【関連予算情報】 予算事業 予算事業番号 予算所属名称 01-10-05-30-50-00-09-00 障害者雇用促進事業費 総務部人事課

01-10-05-30-50-00-0	19-00	<b>焊</b> 吉石	雇用促進事業費				総伤司	人事課		
定量評価】									上段:目標値	下段:実績
<u> </u>	単·	<b>\</b>	令和 5年度	令和	6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
活動)障害者枠での		_	5. 00		8.00	1		14.00	15.00	15.
員の採用者数	人									
			5. 00		9. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
成果)障害者の実雇			1. 83		2. 06	2. 29	2. 53	2. 76	3. 02	3.
率	%		1. 95		1. 88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
活動)障害者就労体										
の受入所属数	所属		14. 00		16. 00			16.00	16.00	16.
			24. 00		19. 00	0.00	0. 00	0.00	0. 00	0.
成果)障害者枠で新			100.00		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.
採用した職員の職場	%		100.00		100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
着率			100.00		100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
定性評価 <u>】</u> 評価項目			評価の観点				基準			評価
妥当性		宇拉	評価の観点 記主体又は手段は	F 572	A 妥	当である	- 基年			計1四
女当江		当カ		\ <del>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</del>		<u>ョでめる</u> ぼ妥当である				Λ
		"		F		まり妥当ではない	١			$\boldsymbol{A}$
						当ではない				, ,
評価理由		法に	こより、自治体が	『率先し	て障害者	fを雇用する責務 <i>f</i>	がある。			
有効性			美分析の「成果」			がっている				
			己載の成果は上が	「つ		や上がっている				$\square$
		てし	<b>\</b> るか			まり上がっていな	<i>(1)</i>			
 評価理由		陪守	<b>『者を採用し、各</b>	( 正屋 4		がっていない				
新加達田 効率性			音句を採用し、台 美手法は効率的で			<u> </u>				
効平は		るか		- (8)		<u> </u>				
		0,3		F		まり効率的でない	١			$\boldsymbol{H}$
						率的でない				
評価理由						職員の意識改革を	を進めている。			
施策への貢献度			5目標の達成に貢	献		献している				_
		して	こいるか	L	B やや貢献している					
						まり貢献していな	<i>(</i> 1)			
		陪守	2字の特殊に記述	ラ I ナ <sub>ー</sub> 苗h		献していない 、計画的な採用を	た半めている			
計測性出			1日の付注に配應	見した 動	が末件 (	、計画的な休用で	を進めている。			
評価理由										
所属評価結果】		1=	= 1 × 1 × 1 + 4 × 1 · · · ·	<b>-</b> 1.1 → -	1 / 85	1 + 40 - 1	<del>4</del> .ht.	144-2		
合評価		計画	回どおり事業を進	೬めるこ	とが適当	事業の方向	可性	拡大		
		- #	5内の暗宝老哉学	5古垤重	業所へ計	 i問し、本市の障害	生老屋田の取組み		書品提供を行うし	ト <b>‡</b> . I ー
						の開催やハロー「				
			ま者の採用につな					四段五〇夕加る	_ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	E MARIE
属コメント		I –				れや職員研修の閉	開催などを通じて	、職員の障害者の	の対する理解を深	める取組
400文字)		を維	継続して実施する	ことに	より、障	害者が安心して長	長く働き続けられ	る職場環境づく	りに努めている。	
±n C = 1 (m //± C = 1										
部局評価結果】		la i <del></del>	コ トン ハ 士 米 ナ ^ 4	<i>-</i>	1. 485	<b>                   </b>	<b>4</b> .44	144-44		
合評価		計画	回どおり事業を進	Eめるこ	とが適当	事業の方向	可性	拡大		
		7左亡	2本意田の旧状に	- <b>占</b> 14 +	1 <del>+</del>		中本の位田ナザ!	アキもど サウ	ラ田安のコモ しょ	生し しい
							ニムハボ田か性の	しさにか 法定し	ᄠᅖᄴᄱᇬᅔᅡᅡ	==1、より
						7組を実施し、障害 7者の採用を見会!			E/11-0/ 11 C -1/	1,1201 )
		、未	達である本市に	おいて	は、障害	者の採用を早急に	こ進めなければな	らない。		
局コメント		、未障	・達である本市に 言書者の採用につ	おいて いては	は、障害 、本市の		こ進めなければな を鑑み、各所属の	らない。 会計年度任用職員	員の退職者補充を	原則とし

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

1203 総務部人事課 所属

総合計画

03 04210 

事務事業番号 04210	障害者	<b>上</b> 全雇用促進事業						下段:実績値
指標名 (活動) 障害者枠での	単位	<u> </u>	令和 6年度 8.00	<u>令和 7年度</u> 10.00	令和 8年度 11.00	<u>令和 9年度</u> 14.00	令和10年度 15.00	<u>令和11年度</u> 15.00
職員の採用者数	人 指標説明	5. 00	9.00 員の採用予定者数	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0. 00
						0.70		0.00
(成果) 障害者の実雇 用率		1. 83 1. 95	2. 06 1. 88	2. 29 0. 00	2. 53 0. 00	2. 76 0. 00	3. 02 0. 00	3. 02 0. 00
	指標説明	算定基礎職員に	占める障害のある	職員の割合。				
(活動)障害者就労体 験の受入所属数	所属	14. 00 24. 00	16.00 19.00	16. 00 0. 00	16. 00 0. 00	16. 00 0. 00	16. 00 0. 00	16. 00 0. 00
談の文八別高奴	指標説明	受入所属数	19.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)障害者枠で新	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
規採用した職員の職場 定着率	指標説明	100.00 障害者枠の新規:	100.00 採用者数に占める	0.00 年度末の職場在	0.00 籍者数の割合	0.00	0.00	0. 00
		※職場環境(就	労環境、労働条件 (大学)	- 人間関係、職	務内容)を理由と	<u>: する離職者を対</u>	象とする。	
							I	
							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
			<u> </u>		<u> </u>		L	
							L	
				1			<u> </u>	
			I		I		T	
			-		-		•	
	_							
IP27P050	I	1		60				

整理番号 0024

評価年度 令和 6年度 所属

01213

1204

進捗区分 評価完了 総務部管財課 市有財産有効活用推進事業

所属長名 中野 雅人 記入者 佛円 悠介

事務事業番号 【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画								
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	013 徹底した行財政改革	革を進め、確かな	:都市経営を進めます						
施策	033 社会状況の変化に対	対応した持続可能	な都市経営						
取組の方向性	001 行財政改革と効率的	内な行財政運営							
事務事業	028 市有財産有効活用抗	<b>推進事業</b>							
運営方法	直営	) / T / T / T / T	Lua		_				
評価区分	対象	主な取組区分	対象						
III lin x + A fee					1				
根拠法令等	大津市公有財産等管理規則								
事業概要	(事業概要) 「大津市公有財産有効活用基 推進する。	<b>本方針」に基づ</b>	き、公有財産の適正な管理	世や未利用財産の	洗い出し及び有効活用を				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 厳しい財政状況の中、財源確保に繋がる市有財産の有効活用が求められているが、市場性の高い売却可能財産が減少している。 (見直しや改善等の経過) 「大津市公有財産有効活用基本方針」に基づき、公有財産の有効活用検討のため、未利用財産の情報を集約、利活用上の課題等を調査・把握した。また、利活用における優先順位の設定や公共・市場性にかかる評価等を進めた上で利活用方針を決定し、売却等を進めた。								

【事章	業分	析】

【争未万例】	
対象(何又は誰を)	各部局が所管する市有財産(未利用財産)の
目的(何のために)	有効活用を図るため
手段(どのようなやり方で)	大津市公有財産等管理規則、大津市公有財産有効活用基本方針に基づく事務サイクルを回すことで
成果(どのような 状態にするのか)	売却等を行い、市有財産の有効活用が推進される。

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
h-	タルコスト	11, 742	13, 817	14, 712	14, 712	14, 712	14, 712	14, 712
事	業費	2, 382	4, 457	5, 352	5, 352	5, 352	5, 352	5, 352
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2, 382	4, 457	5, 352	5, 352	5, 352	5, 352	5, 352
人	、件費計	9, 360	9, 360	9, 360	9, 360	9, 360	9, 360	9, 360
	事務・技術(人)	1. 20	1. 20	1. 20	1. 20	1. 20	1. 20	1. 20
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0024

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

所属 1204 総務部管財課

事務事業番号 01213 市有財産有効活用推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-42-21-00-02-00	市有財産有効活用推進事業費	総務部管財課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)普通財産の売払に向けた作業件数	件	0.00	0.00	3. 00	3. 00	3. 00	3.00	3. 00
	IT	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)普通財産の売払 件数	件	5. 00	5. 00	3. 00	3.00	3. 00	3.00	3. 00
	ПТ	1. 00	2. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)普通財産の売払 額	<b>千</b> 円	50, 000. 00	50, 000. 00	50, 000. 00	50, 000. 00	50, 000. 00	50, 000. 00	50, 000. 00
tig.	113	25, 855. 00	109, 560. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)普通財産の新規 貸付件数	件	3. 00	3. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
貝   以   T	IT	2. 00	2. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
【定性評価】						•		

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{A}$
			D	妥当ではない	
	評価理由	市有財産を対象とするもの	りであり	り、市が直接行う必要があるため	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	上がっていない	
	評価理由	売払収入額が目標値を超え	えたたと		
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	効率的でない	
	評価理由		作成しF	円滑な事務の執行が図れているため	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	
4			С	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	売払件数や新規貸付件数が	が目標の	直に達しなかった	
l	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価

計画どおり事業を進めることが適当

事業の方向性

現状維持

大津市公有財産有効活用基本方針に基づき、公有財産の利用状況を定期的に把握し、売却や貸付が可能な未利用
財産の洗い出しと利活用の方向性の整理を行うサイクルが確立され、順次、売却等に向けた作業を進めることが
できている。
引き続き、売却等に必要な作業を進めたいが、市場性が高い物件が少なくなっている。各部局で所管している財
(400文字)

産のうち、将来的に売却処分できる財産及び有効に利活用できる財産をしっかり抽出し、確実な成果に繋げる必
要があると考える。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	本事業を確実に推進するためには、定期的は個々の評価を所管部局と共有し、利活用ジでの公表を行うことで、民間事業者によ	の優先順位を考慮して進める	ことが重要である。また、市ホームペー

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1204 総務部管財課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 市有財産有効活用推進事業 01213 上段:目標値 下段:実績値 <u>令和11年度</u> 3.00 指標名 (活動)普通財産の売払 <u>令和 5年度</u> 0.00 <u>令和 6年度</u> 0.00 <u>令和 7年度</u> 3.00 令和 8年度 3.00 令和10年度 3.00 単位 令和 9年度 3.00 件 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 に向けた作業件数 0.00 指標説明 普通財産の売払に向けた作業件数 ※行政改革プラン2025の取組内容に合わせるため5.00 | 5.00 | 3.00 <u>令和7年度より新指標を設定する</u> 3.00 3.00 3.00 | (活動)普通財産の売払 3.00 3.00 件 1.00 2.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 指標説明 普通財産売払件数 <sup>奴</sup> ン<u>2025の取組内容に合わせるため</u> | 50,000.00| 50,000.00<sup>|</sup> <u>令和7年度より標記及び目標値を変更する。</u> 50,000.00 50,000.00 50,000.00 <u>※行政改革プラ</u> 50,000,00 50, 000, 00 (成果)普通財産の売払 千円 25, 855. 00 109, 560, 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 指標説明 普通財産売払収入額 <u>※行政改革プラン2025の取組内容に合わせるため</u> 3.00 3.00 0.00 2.00 2.00 0.00 <u>令和7年度より標記を変更する</u> 0.00 ┃ 0.00 0.00 (活動)普通財産の新規 0.00 0.00 貸付件数 0.00 0.00 0.00 0.00 指標説明 普通財産新規貸付件数 <u>※行政伎革プラン2025の取組内容に合わせるため</u> 100.00 | 100.00 | 0.00 <u>令和7年度より廃止する</u> 0.00 ┃ (成果)普通財産の新規 0.00 0.00 0.00 千円 0.00 2.00 12.00 0.00 0.00 0.00 0.00 貸付額 指標説明 普通財産新規貸付収入額 ※行政改革プラン2025の取組内容に合わせるため 令和7年度より廃止する。

整理番号 0025 評価年度

04244

令和 6年度 1235

進捗区分 評価完了 総務部定額減税調整給付金室 定額減税調整給付金支給事業 所属長名 野村 邦彦 記入者 赤松 隆

事務事業番号 【基本情報】

所属

【基本情報】					
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画		•	_
基本方針	099 その他	_	_	<u> </u>	_
基本政策	099 その他				
施策	099 その他				
取組の方向性	099 その他				
事務事業	074 定額減税調整給	付金支給事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市令和6年度定額減	税調整給付金支給 <mark>事</mark>	業実施要綱		
事業概要	所得世帯支援枠と定額減税調整給付金を支給する 1万円(令和6年度分) 2ヶ年(R6年度・R7年)	脱の間にある定額減 方針が示されたこと / 1 人あたり)に満 度)で完結する制度	税の恩恵を十分はから、定額減税をたない市民に対し 設計となっている	- 受けられないと見る 夏が4万円(所得税3 て定額減税調整給付 5。	基づく支援の実施において、低 込まれる市民に対して、定額減 3万円(令和6年分)・住民税 金を支給する。この給付金は
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	減税可能額が減税前税額 して定額減税調整給付金	を上回る(減税しき: を支給した。令和7 したことにより結果	れない) と見込まれ 年度は、令和 6年 として支給額にオ	れる所得税/住民税の F度当初調整給付に際 C足が生じた方等(個	会であり、令和6年度は、定額 納税義務者(個人単位)に対 祭し、所得税はR5年所得をR6 国人単位)に対して、その差額

 1110	 1-	•

【争耒万忻】	
対象(何又は誰を)	定額減税(所得税3万円、住民税1万円)しきれないと見込まれた方に 
目的(何のために)	減税しきれないと見込まれた額を1万円単位に切り上げた給付額を支給するため
手段(どのようなやり方で)	対象者宛にプッシュ通知や、支給確認書の書類を送付したうえで、口座振込等の方法により
成果(どのような 状態にするのか)	給付対象者に確実に給付金を支給する。

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	-タルコスト	0	2, 615, 344	184, 235	0	0	0	0
3	事業費	0	2, 576, 144	145, 035	0	0	0	0
	国庫支出金	0	2, 576, 144	145, 035	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
Ιſ	人件費計	0	39, 200	39, 200	0	0	0	0
	事務・技術(人)	0.00	4. 00	4. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	2. 00	2. 00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

0025 整理番号

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 総務部定額減税調整給付金室 所属 1235 事務事業番号 04244 定額減税調整給付金支給事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-03-40-00-01-00	定額減税調整給付金支給事業費	総務部定額減税調整給付金室

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)送付率	%	0. 00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	70	0. 00	100. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果)給付率	0/	0.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	%	0. 00	100. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】 評価項目 評価の観点 基準 評価 妥当性 実施主体又は手段は妥 妥当である ほぼ妥当である 当か В あまり妥当ではない 妥当ではない D 評価理由 国庫事業の給付金であるため市が主体となって実施した 有効性 事業分析の「成果」欄 上がっている やや上がって<u>いる</u> に記載の成果は上がっ В ているか あまり上がっていない С D 上がっていない 評価理由 給付希望者には全員給付済みである 効率性 事業手法は効率的であ 効率的である Α るか В やや効率的である С あまり効率的でない D 効率的でない 評価理由 プ<mark>ッシュ方式</mark>やコールセンター -などの委託を実施 施策への貢献度 施策目標の達成に貢献 Α 貢献している しているか В やや貢献している あまり貢献していない C 貢献していない 評価理由 給付希望者には全員給付済みである 評価理由

【所属評価結果】 総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 令和6年度定額減税調整給付金(当初調整給付)は、計画した内容に基づき事業を進めた結果、給付希望者全 員への給付が完了した。 令和7年度には定額減税調整給付金(不足額給付) を予定しており、計画した内容に基づき事業を進めていく 所属コメント また、令和7年度当初予算は事務費のみの計上となっており、事業費(給付費)については対象者の抽出作業 (400文字) 後に改めて補正予算において議会へ上程予定である。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
			MIA 15+M+
	令和6年度定額減税調整給付金の実施に		
	額給付に向けては本給付金の経験及びノウ	ハウを活かし、より効率的か	つ確実に実施する。
部局コメント			
(400文字)			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1235
 総務部定額減税調整給付金室

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

事務事業番号 0424 1888年 1888年	14 定額	減税調整給付金支	給事業				上段:目標値	下段:実績(
指標名 (活動) 送付率	単位	令和 5年度 0.00	<u> </u>	令和 7年度 100.00	令和 8年度 0.00	<u>令和 9年度</u> 0.00	令和10年度 0.00	令和11年度 0.00
(石刻) 达时十	%	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
	指標説明	送付対象者/支持	給対象者数(送ſ	寸対象者とは再送	付などを除いた数	效)		
(成果)給付率	%	0.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	0.00 給付者数/給付	100.00 希望者数(=給f	0.00 対対象者から拒否	0.00 者や未提出者、2	0.00 F達者等を控除し	0.00 ルた者の数)	0. 00
			I	1	1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
				l	<u> </u>			
			I	I	1			
				l	<u> </u>			
			<u> </u>	I	1			
		+	Ι	I	1			
				1			<u>l</u>	
				_			<u> </u>	
			T	ī	1		Г	
							_	
			<u> </u>		<u> </u>			
_			<u> </u>	I	1			
							_	
					<u> </u>			
_			<u> </u>	I	1			